

人間爆弾「桜花」 ―特攻を命じた兵士の遺言― (2014)

PAROLE DE KAMIKAZE

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー 戦争

製作国 フランス

色彩 Color

時間 76分

初公開日 2016/08/27

公開情報 太秦

【解説】

太平洋戦争末期、大日本帝国海軍の最後の切り札として開発された一人乗りの特攻専門兵器“桜花”。それは、エンジンがないため自力飛行ができず、母機に運ばれ敵艦近くで切り離された後は、搭載した大量の爆弾とともに敵艦に激突することだけを目的とした、世界に例を見ない有人誘導の“人間爆弾”だった。本作は、海軍兵学校出身のエリート士官で22歳の時に“桜花”作戦を実行する“神雷部隊桜花隊”の第一志願兵となり、23歳で分隊長として、その日出撃する隊員を選出する役目を担い、多くの同志を死へと送り出す一方、自らの番を迎える前に戦争が終わったことで、その後の人生を亡き同志への鎮魂と神雷部隊での記憶を語り継ぐことに捧げ続ける老人、林富士夫の言葉を記録したドキュメンタリー。監督は85年に渡仏して映画製作会社を設立し、「ユキとニナ」「あん」などのプロデューサーを務め、これが初監督作となる澤田正道。

【クレジット】

監督 澤田正道 Masa Sawada

撮影 ジョゼ・デー Josee Deshaies